

千葉市民活動フェスタ2024開催報告 五感de発見・没入(NEW)体験!!



今年度は11月16日(土)・17日(日)の両日、きぼーるにて対面方式で「千葉市民活動フェスタ」を開催、1800名の来場者を迎えることができました。

初参加を含む41団体が参加、発表や展示、体験など独自の方法で団体の活動を紹介していました。昨年好評だった抽選会は、スタンプラリーと組み合わせて「五感deラリー」と名付けて展開。運営に課題は残りましたが、「普通なら通り過ぎてしまう団体にも、スタンプラリーをきっかけに立ち寄って話を聞くことができた」と嬉しい感想もありました。景品をお寄せ下さった団体の皆様に改めて御礼申し上げます。

今年はボランティア参加のスタッフが多く、中にはキャラクターの支援をしたいと県外から来てくれた人もいたほど。動物公園からは、ライオンのアレンくんが初来場。体操にも参加するなど会場は大いに盛り上がりました。

新たな企画として、「団体の目的や活動内容がよく伝わった」と思う団体、「応援したい」団体を来場者の投票により顕彰。「よく伝わった部門」金賞、1日目は「中央区シニアリーダー連絡会」、2日目は「オオカミと里山を考える会」が、また「応援したい部門」金賞には、1日目「タオル帽子ボランティアの会」、2日目「NPO法人千葉言友会」が、それぞれ選ばれました。

参加方法を増やすことで、多様な参加ができたのは一つの成果ですが、全体のレイアウトなど、今後の進化に向けての課題も見えた、伸びしろの多いフェスタでした。



ミニコラム

ちばさぽの風 vol.65

子ども食堂についてちょっとだけ

■「子ども食堂」とは

無料または安価で食事を提供するだけでなく、学習・遊び・放課後の居場所・多世代交流など、食堂ごとに多様な目的で開催されています。(千葉市社会福祉協議会のHPより)

2024年7月20日現在、千葉市のリストに載っている子ども食堂は42件ですが、掲載されていない食堂もあります。高齢者も利用できたり、宿題の相談に乗ったり、ゲームをしたりと活動内容は様々。運営している人たちも多彩です。

ある方は「うちは、挨拶しない子は入れてやらないんだ」と語っていました。実は家に誰もいないため「ただいま」も「いただきます」も言う習慣のない子がいるのです。結果的に子供たちは、ここで叱られて初めてあいさつの習慣を覚

え、卒業した後も手伝いに来てくれるのだとか。

■子ども食堂の支援

子ども食堂を手伝ってみたい方や、食材の差し入れならできるという方のために、千葉市社会福祉協議会のHPにはいろいろな食堂の希望を掲載する「ほしい物リスト」があります。

いきなり米や大量の野菜を持ち込まれても、お気持はありがたいが正直こまる場合もあります。寄付なさる方は、何が必要か確かめて、事前に連絡してから届けましょう。必要なところに、求められる手を貸す、というのが支援の基本です。

